

(7) 高梨子森下遺跡19号住居跡出土の黒色土器について

19号住居跡の土師器坏(1)は、南壁に構築されたカマドの左脇から出土した古墳時代後期の坏である。口径12.2cm、器高4.5cmで丸底を呈する。内面の口縁部と体部を画す明瞭な段差と黒色処理を最大の特徴とし、黄橙色を呈する精良な胎土や内面横方向の磨きなど、県内の同時期の土師器坏とは大きく異なっている。類似する坏は、安中市吹上遺跡でも出土しており、従来より「善光寺平形坏」ないし「北信系黒色土器」と称されてきた土器である。この土器については、先学により以下の3点が指摘されている。①長野県北部の善光寺平を故地とする。②群馬県内の出土例は鐫川流域が多い。③時期は6世紀後半である。ここでは類例の集成と簡単な整理を行いたい。なお名称は「北信系黒色土器」を用いる。

上記の特徴を手掛かりとして、県内では13遺跡23点の事例が認められた(第76図)。これらを長野市榎田遺跡における坏形土器の分類(A～G類)にあてはめると、C類ないしE類に相当する。C類はさらにC1類～C3類に細分される。C1類は器高に対する口径比が2.6～3.1を示し、C2類より深身である。底部は丸底を呈し、口縁部は外傾する。法量に大小の二種がある。C2類は器高4cm前後、口径14～16cmと規格的である。器高に対する口径比が3.4～4.0を示し、C1類より偏平である。底部は平底に近く、口縁端部は内湾気味である。C3類は碗に近い形状で、器高に対する口径比は2.0～2.1を示すが、類例は少ない。E類は須恵器高坏の坏部を模倣したものである。底部は緩やかな丸底を呈し、口縁部は外反する。

県内の北信系黒色土器には、TK43型式併行とみられる須恵器坏身を伴う事例が3例あり(5・6①・7③)、口径比などから5、6①、7③の順に新相を示している。また共伴する土師器模倣坏の形状とあわせると、C1類からC2類への時間的推移が想定される。C1類からC2類への器形な変化は、口縁部の内湾指向、底部の平底化に伴う内面段差位置の低下が指標となる。一ノ宮本宿・郷土例(6)はその中間的な形態と位置づけられる。E類は須恵器の共伴例がないが、土師器模倣坏の形態からC2類と同時期の所産と考えられる。

ところでC2類とE類の分布には大きな差異がみられる。C2類は井野川上流域、E類は鐫川流域に分布している。E類の綿貫堀米前Ⅱ例(10)は例外的に井野川下流域であるが、鐫川ルートの影響の可能性も考えられる。

本遺跡例は北信地域からの土器の移動を物語る資料である。安中市吹上遺跡例(4)とともに、6世紀後半の比較的早い段階に碓井川・九十九川流域でみられることは、西毛地域のなかで最も長野県に近い立地から当然ともいえる。本遺跡例と吹上遺跡例とは、同一工人の手によると思われるほどに似ており、搬入品と考えられる。北信地域からの土器の搬入の背景に何があったのか、またC2類とE類の段階において、西毛地域を二分するような分布の違いが、当時の政治的・経済的な情勢とどのように結びついているのか、今後検討を要する課題である。

参考文献

- 前原 豊他 1978『F1竹沼遺跡』藤岡市教育委員会
田辺 昭三 1981『須恵器大成』角川書店
今井 幹夫他 1981『本宿・郷土遺跡』富岡市文化財保護協会
五十嵐 至 1983『中林遺跡調査概報』群馬町教育委員会
茂木 由行 1986『入野遺跡Ⅲ』吉井町教育委員会
田口 一郎 1988『海行A・B遺跡』箕郷町教育委員会
田中 広明 1989「上毛野・北武蔵の古墳時代後期の土器生産－土器生産の転換と在地首長制－」『東国土器研究 第2号』東国土器研究会
外山 政子他 1990『三ッ寺Ⅱ遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団他
大工原 豊他 1991『新寺地区遺跡群』安中市教育委員会
古郡 正志他 1994『F12藤岡平地区遺跡群』藤岡市教育委員会
伊藤 肇他 1994『南蛇井増光寺遺跡Ⅲ』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団他
千田 茂雄 1995『荒神平・吹上遺跡』安中市教育委員会
徳江 秀夫他 1999『馬場東矢次Ⅱ遺跡・新川鐫木遺跡・井出二子山古墳・保渡田八幡塚古墳』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団他
土屋 積他 1999『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書12－長野市内その10－ 榎田遺跡』長野県埋蔵文化財センター他
神戸 聖語他 2000『綿貫堀米前Ⅱ遺跡』高崎市遺跡調査会

遺跡番号	遺 跡 名 遺 構 名	北 信 系 黒 色 土 器					須 恵 器
		坏C類			坏E類	高坏ほか	
		C 1類	C 2類	C 3類			
参考資料	長野市 榎田遺跡						
1	安中市 西裏・西新井 A H - 1 号住居址						
2	吉井町 入野Ⅲ 36号住居址						
3	高崎市群馬町 中林 36号住居跡						
4	安中市 吹上 H - 25号住居址						
5	安中市松井田町 高梨子森下 19号住居跡						
6	① 富岡市 一ノ宮本宿・郷土 G D 9 号南北溝						
	② 富岡市 一ノ宮本宿・郷土 G D 44号住居跡						
7	① 高崎市箕郷町 海行 A S B 15						
	② 高崎市箕郷町 海行 A S B 19						
	③ 高崎市箕郷町 海行 A S B 29						
8	高崎市群馬町 三ツ寺Ⅱ 2 区 4 号住居跡						
9	高崎市群馬町 井出二子山古墳						
10	高崎市 綿貫堀米前Ⅱ 9 号住居跡						
11	富岡市 南蛇井増光寺 163号住居跡						
12	藤岡市 竹沼 E H - 1 号住居址						
13	藤岡市 藤岡平地区 H - 17号住居址						

0

1/8

20cm

0 1/8 20cm

第76図 群馬県における古墳時代後期の北信系黒色土器